

地域とともに子どもの健全育成を支援するPTA活動

春日井市立坂下中学校PTA

1 はじめに

本校は、生徒数 380 名の中小規模な中学校である。春日井市の北東部に位置し、岐阜県多治見市と接している。春日井市全体の 5 分の 1 が校区であり、広い校区となっている。緑豊かな田園丘陵地帯にあるが、工業団地の誘致や宅地造成により大きく変化してきている。



【正門からの坂下中学校外観】

地域の中学校として、地区児童生徒健全育成連絡協議会や教育後援会、坂中みまもり応援団のボランティアなど、地域からの大きな支援により「坂中生」は日々安心して生き生きと学校生活を送ることができている。

昨今は、どこの学校もPTAも同じであると思われるが新型コロナウイルスの影響で、さまざまな活動が中止・変更されたり縮小されたりしている。

このような状況下であるが、地域との連携を軸にしながら子どもの健全育成をともに支援していくPTA活動に取り組んでいくこととした。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校PTAは、学校教育の充実・PTA会員同士の繋がりと学び・教育環境整備を目指し、生徒の心豊かで健やかな成長を支えてきた。

しかし、共働きの家庭の増加や、生活様式、考え方の多様化している現在、PTA活動をはじめ、学校行事や地域行事について見直していくことが必要になってきている。

折しも、コロナ禍のため、ただでさえ活動の縮小や中止などをせざるをえず活動さえおぼつかない状況も含めて活動の見直しを試みることにした。

そこで、適宜わかりやすく情報発信し、

① 少しでも足を運びたくなる活動とすること、

② 地域と連携したあいさつ運動や安全指導をしていくこと、

③ 地域防災について学校、家庭、地域が連携していくこと、

として活動していくことで、子どもを支えていけるのではないかと考えた。

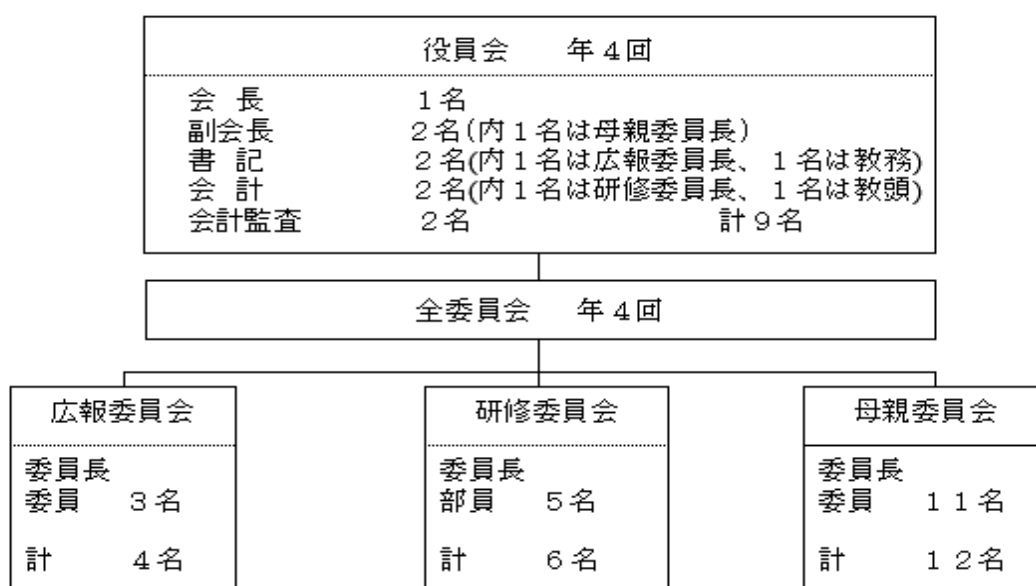
(2) P T Aの組織と主な活動

本校では会員の負担を減らし無理なく活動が出来るよう組織や活動内容について精選をしてきた。

会長をはじめとする役員 9 名と委員の合計 2 6 名で構成されている。構成は次の図のようになっている。

役員会では、主にあいさつ運動など全体に関わることと、年間を通じた P T Aの活動について取り組み、研修委員会、母親委員会が研修会などの催しを計画・運営する。広報委員会では活動の様子を家庭や地域に発信していく活動を行っている。

PTAの組織図



3 実践活動の概要

(1) I C Tを活用した P T A総会等のオンライン開催

昨年度より、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、さまざまな行事の中止や延期、縮小がされてきた。そのため P T A活動についても中止となる企画が多くあった。

そこで、コロナ禍でも行える P T A活動をどのようにしていけばよいかを考えて工夫してきた。

本校は、愛知県 I C T活用推進モデル事業の実践校になっており、G I G Aスクール構想の環境を



【Web 配信による P T A総会の様子】

生かした教育に取り組んでいる。学校行事や授業でＩＣＴを活用しており、この環境をＰＴＡ活動にも活用することとした。コロナ禍で体育館に会員が集まらない４月のＰＴＡ総会をＷｅｂ開催ができるよう企画して行った。

会員の方からのその後の感想では、昨年度の紙面だけでの内容よりも、ＰＴＡ役員の話す映像などを見られたことで、「コロナ禍以前のような対面で行ってきた総会と同じように感じられた」「ＰＴＡ総会に参加するための時間の確保が必要なく、好きな時間に見ることができたり、何度も見たりすることができた」などの感想を得ることができた。承認や議決については、内容によって紙面で集めたり、ＱＲコードを使って各家庭から携帯端末を使って回答してもらったりした。



【Web 配信によるＰＴＡ総会の様子】

(2) あいさつ運動

本校では、「あいさつ運動週間」という形で限られた期間でのあいさつ運動ではなく、１年間を通じて全会員が朝のあいさつ運動を行ってきている。しかし、昨今は、コロナウイルス対策のため、緊急事態宣言下や、まん延防止期間については、この活動を自粛してきた。そこで、この機会に「あいさつ運動」について見直しをして、会員のみなさんにとってより参加しやすい活動になるよう工夫をした。

今までは、限られた日にちで当番を割り振っていたが、ＰＴＡ会員が参加しやすいように幅をもたせて、その期間内であれば都合のよい日に繰り返し何度でも参加できる方法に変更した。

さらに、会員のみなさんには、



【ＰＴＡあいさつ運動の様子】



【警察・スクールリーダー・補導員による運動の様子】

忙しい中、都合を付けてあいさつ運動に参加するので、その際に、生徒の朝の教室での様子を参観できるようにした。

また、P T Aの活動ではないが警察やスクールサポーター、補導員の方々が参加する「あいさつ運動」があり、生徒は地域の多くの皆様に見守られており大変感謝している。

(3) 見守り隊の活動

P T Aとは別の組織ではあるが、見守り隊の方が毎朝生徒の登校時間に通学路に立って登校の見守り活動をしている。

そして、生徒の登校の様子やその変化などから気になることがあれば伝えてもらっている。生徒はもちろん保護者、教職員も大変感謝しており、P T Aとも連携していけるよう考えている。

コロナ禍になる前は、例年学校の行事にも見守り隊の方々をお招きし、学校の様子を参観していただいている。



【見守り隊の活動の様子】

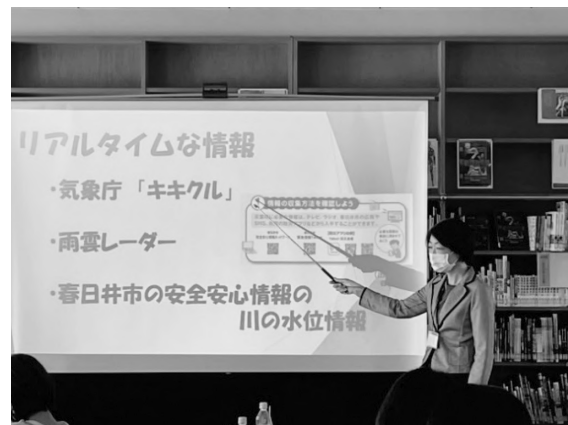
(4) P T A研修会

新型コロナウイルス感染症の流行により地域のさまざまなイベントが中止や縮小し、地域の繋がりが希薄になりつつある。

そのような中、P T Aの研修会を通して少しでも学校や地域の繋がりを作れないかと考えた。

研修部を中心にP T Aの研修会を計画し、『コロナ禍での繋がり 災害時に活かす』と題し、講師に防災士でもあるP T A会員の方をお願いをしてP T A研修会を行った。

昨年度は、『身近に感じる防災』という題でP T A研修会を計画したが、対面での研修を行うことを中止して紙面での開催となった。



【P T A研修会の様子】

今回は、「水害編」ということだったが、水害のことだけでなく地震への備えを含め、校区のハザードマップや防災に備えておくといふ物など具体的に研修を深めることができ、参加した会員からは「家に帰ったら早速取り組んでみよう」「具体的に何を備えればよいか分かった」などの感想があり大変有意義な研修となった。学校だけでなく地域全体にもこの研修の内容を情報を発信し、子どもたちの健全育成を支援している。



【ハザードマップを確認している様子】

4 おわりに

コロナ禍の対応として、令和2年度より学校行事を含め、さまざまな制限のある中でのPTA活動となっている。

しかし、保護者や地域の方々の理解と協力があり、感染症対策を徹底し、これまでのPTA活動を工夫し変化させることで子どもたちの健全育成を支援する活動として行うことができている。

学校・家庭・地域とのつながりに関心も高くつながりが強い地域であるので、PTAとして、学校・家庭・地域との連携を図っていく必要性を改めて再認識できた。それぞれに負担がかからないように、現在必要とされる活動を精選し、今後もさらに子どもの健全育成の支援ができる活動をしていきたい。